


RENEW

FACTORY TOUR & MARKET





**産業観光を通して、
持続可能な産地をつくる**

RENEWとは

“見て・知って・体験する”

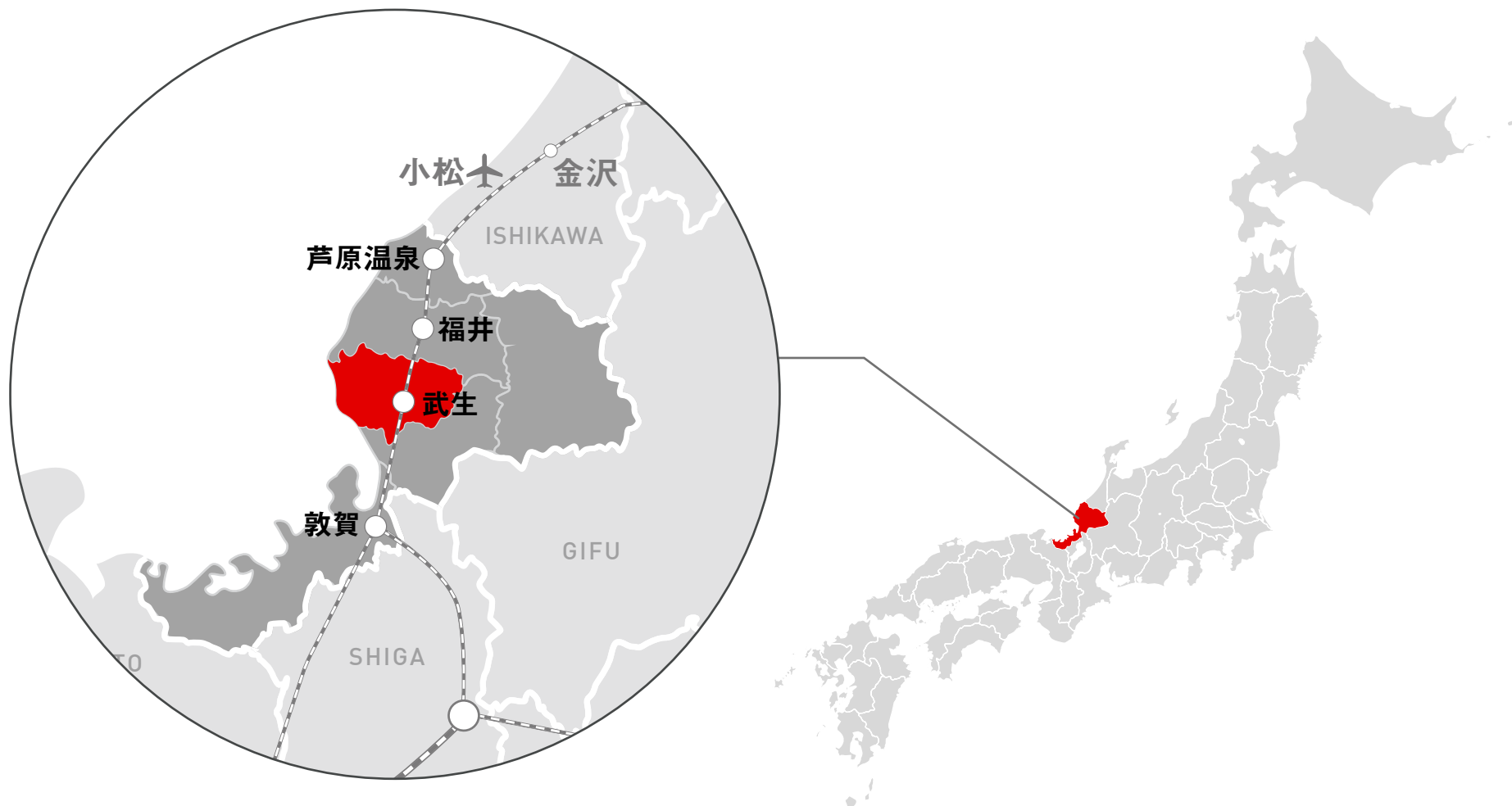
作り手たちとつながる体感型マーケット

「RENEW(リニュー)」は、福井県鯖江市・越前市・越前町で開催される、持続可能な地域づくりを目指したオープンファクトリーイベントです。会期中は、越前漆器・越前和紙・越前打刃物・越前筆筒・越前焼・眼鏡・繊維の7産地の工房・企業を一斉開放し、見学やワークショップを通じて、一般の人々が作り手の想いや背景を知り、技術を体験しながら商品の購入を楽しめます。

また、RENEWでは狭義の産業観光だけにとどまらず、雇用創出、産地内教育、通年での産業観光促進など、産地の熱量を上げる様々なプログラムの展開により、「ものづくり」から広がる「まちづくり」「ひとづくり」といった、産地の未来を醸成する好循環を生み出しています。

AREA

福井県「鯖江市」「越前市」「越前町」



RENEWのエリアに集積する7つのものづくり

- 全国屈指のものづくりの集積地 -



越前漆器



眼鏡



越前和紙



越前打刃物



越前箆筒



繊維



越前焼

鯖江市・越前市・越前町がある丹南エリアは越前5産地として知られ、越前漆器・越前和紙・越前打刃物・越前箆筒・越前焼といった伝統的工芸品や、眼鏡・繊維といった7つもの地場産業が半径10km圏内にギュッと集積しています。技術を継承しながら、時代に合わせたものづくりを続けており、最近では担い手として移り住む若者も増え、産地に新しい風が吹いています。

産地の魅力を伝え、産地内の機運を醸成する様々なプログラム。

工房・工場見学



長年にわたり多彩なものを生み出してきた福井県、越前鯖江エリア。工房内で実際の作業の見学を通じて、ものづくりに携わってきた職人と直にコミュニケーションを取れるのがRENEWの魅力。職人の熱い想いに触れてみてください。

ワークショップ



各社が趣向をこらして展開するワークショップはRENEWの醍醐味のひとつ。職人の説明を聞きながら、技術を体験できる貴重な機会です。めがねづくりワークショップや紙漉き体験など、手を動かすものづくりをじっくりとご堪能ください。

ローカルフード



おいしい食文化も、福井の自慢。それぞれの地域に根ざす飲食店も、RENEWを構成する大きな要素です。地元民に愛される味から特産品を活かした知られざる新商品まで、福井の食を思う存分に味わってください。

トークイベント



RENEW 当日はトークイベントも開催します。RENEWの話や地域の話はもちろん、全国から集まったゲストによるトークも展開。ものづくりや産地にまつわる、ここでしか聞けない生の話をぜひお楽しみください。

まち／ひと／しごと



全国のローカル経済圏で行われている社会的意義の高い活動を紹介する、ショップ型の博覧会です。当事者から直に想いやストーリーを聞きながら、これからの地域のあり方、暮らしのあり方を捉え直すきっかけを探しに来てください。

きっかけは、未来への危機感

「産業観光を通して、持続可能な産地をつくる。」

地域外に魅力発信＋地域内にはものづくりの誇りを取り戻す。

【伝統的工芸品 生産額】 需要の減少



数値出典：〔一財〕伝統的工芸品産業振興協会資料

【伝統的工芸品 従業者数】 人材 / 後継者問題



数値出典：〔一財〕伝統的工芸品産業振興協会資料

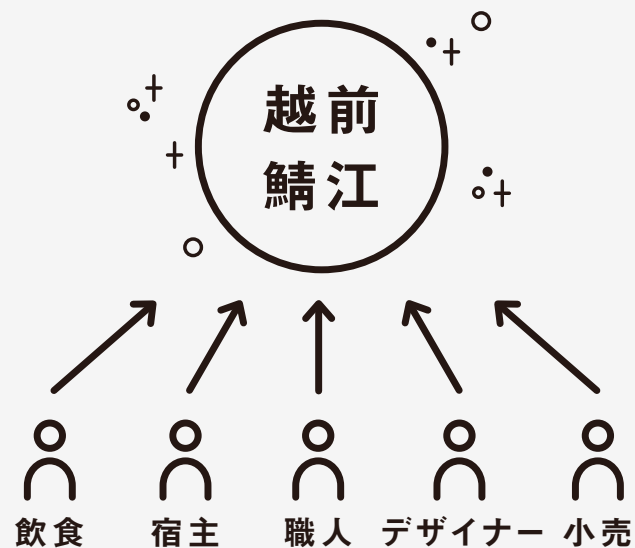
手段 ▶ 工房見学を通じて、地域内外に気づきを生み出す。

体制 ▶ 有志で実行委員会を構成。補助金に頼りきらず自主運営。

「来たれ若人、ものづくりのまちへ」

ものづくりをしたい若者が、一番憧れる産地になりたい。

ものづくりを志す若者が
目指すまち



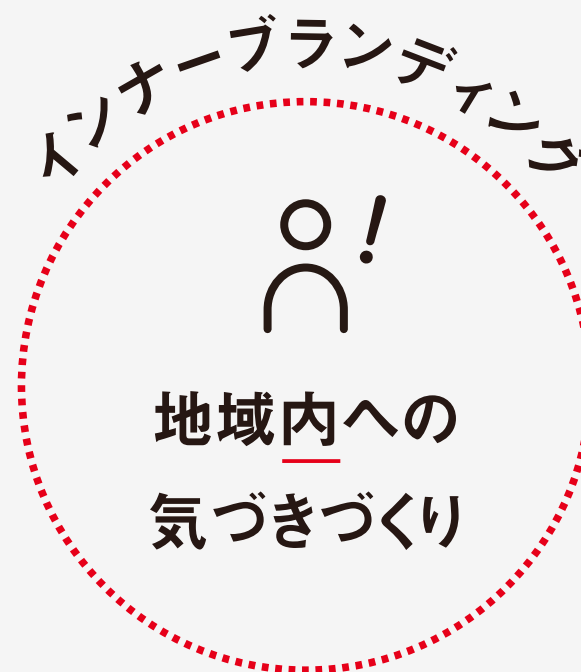
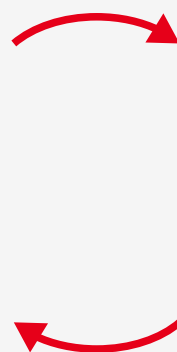
達成するためには

- ・ 各社が売上を増やすこと
- ・ 地域の魅力を伝えること

▶ 地域の内と外、両輪で好循環を生み出す。



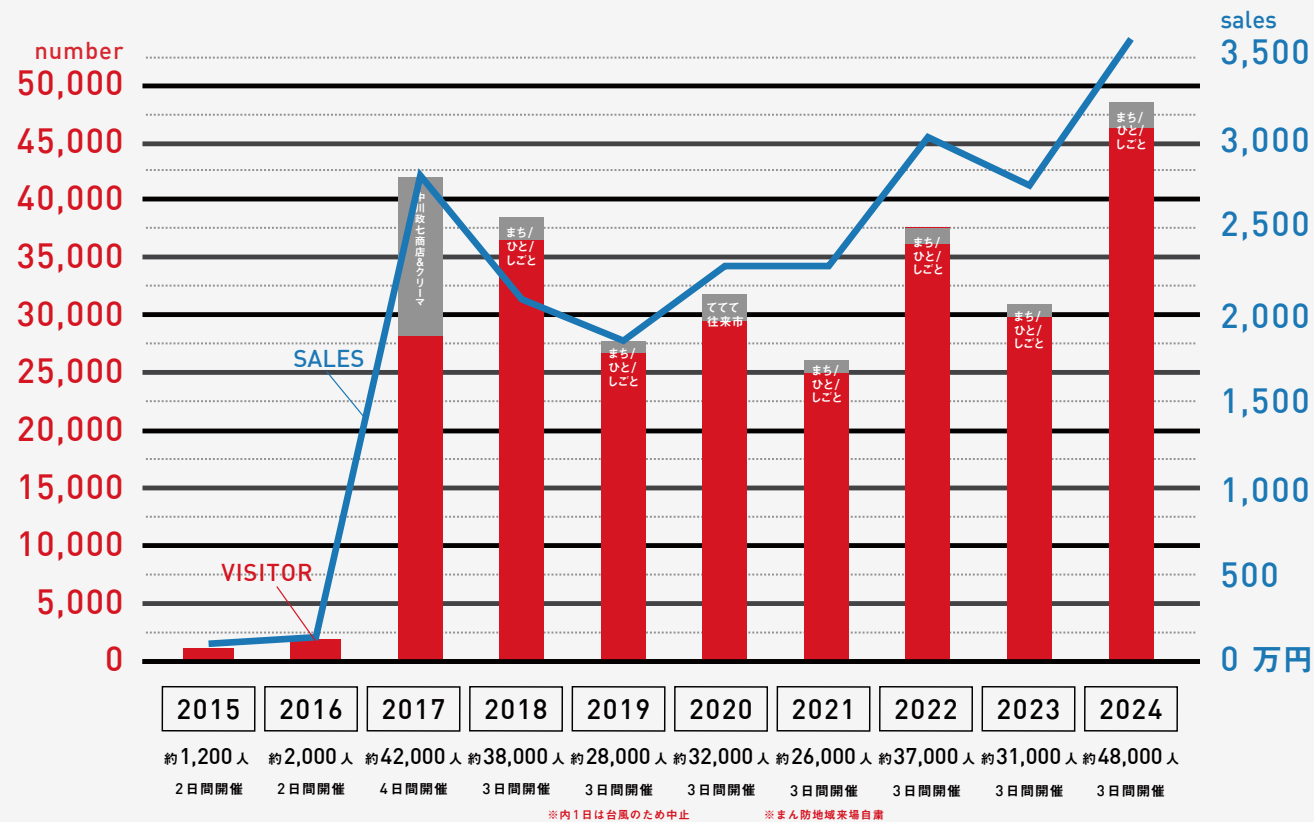
来場に対し、産地のものづくりをじっくり
体感してもらうことで、ファンを増やす。



参加事業所が自分ごととして
行動することで、意識が変わる。

来場者数・売上

来場者数・売上



2024年RENEW実績

10TH!

来場者数(延べ人数)

約 **48,000** 人

売上

約 **37,000,000** 円

RENEW の効果

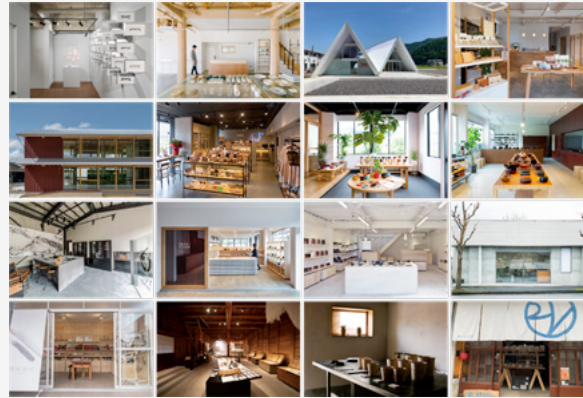
産地の意識変化



ものづくり

時代に合わせ変化し、 挑戦し続ける地域

時代にに合わせて変化し続けてきた越前鯖江のものづくり。RENEWがきっかけで新たな商品や技術、雇用が生まれるなど、地域企業の挑戦につながっています。



まちづくり

40 店舗の ファクトリーショップの開業

10年間でファクトリーショップが新たに40店舗以上オープン。職人が作ったものを、職人の言葉で売る。年に一度のイベントにとどまらず、いつ訪れても楽しめるものづくり産地として地域が進化し始めています。

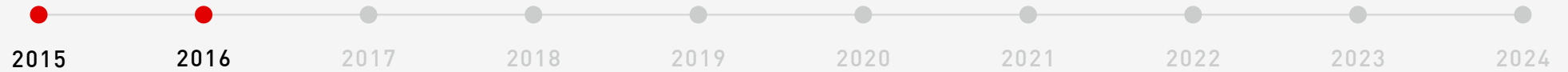


ひとづくり

68人以上の雇用の創出

移住者も年々増加し、120人以上に。若者や学生たちが実験の場としてまちを活用し、次々と新しいプロジェクトが生まれています。さらに、職人じゃない、デザイナーじゃない、何者でもない「じゃない人」がまちと柔軟に関わっていくことで、地域に厚みが増え、広がりを見せています。

RENEW の歴史



2015



河和田とびら（RENEW 準備室）設立。
RENEW の始まりは漆器の河和田地域から。

はじめての RENEW で、うるしの里会館の駐車場がいっぱいに。
まちが若者で溢れた。

開催日：2015年10月31日（土）、11月1日（日）
来場者数：1,200人

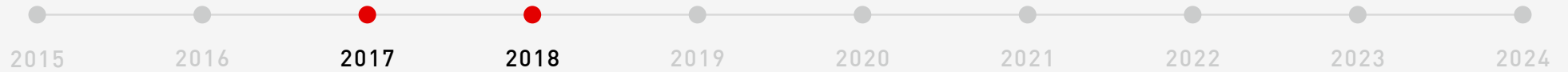
2016



ワークショップブームの年。
RENEW ナイトイベント SIKKI BAR を開催。
職人がバーテンダーとなり自ら手がけた酒器で地酒を楽しんだ。

開催日：2016年10月15日（土）、16日（日）
来場者数：2,000人

RENEW の歴史



2017

RENEW×大日本市鯖江博覧会



コンセプト「来たれ若人、ものづくりのまちへ」を掲げる
中川政七商店「大日本市」とコラボレーションし、
「RENEW×大日本市鯖江博覧会」として開催。
2017年からエリアを拡大し、鯖江市・越前市・越前町で開催。
現在と同じエリアでの開催となる。

開催日：2017年10月14日（土）、15日（日）
来場者数：延42,000人

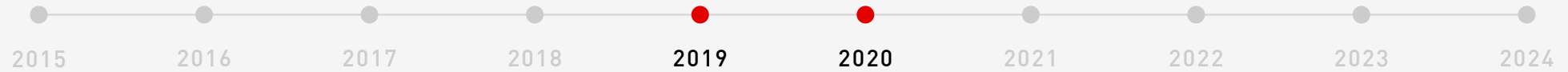
2018



中川政七商店とコラボレーションした前年度に負けない盛り上がりを見せようと奮闘。
福井の人にも日本中のローカルで活動する人たちを紹介したいと
「まち／ひと／しごと -Localism Expo Fuku-」を始める。
RENEWに本格的な事務局体制ができる。

開催日：2018年10月19日（金）、20日（土）、21日（日）
来場者数：延38,000人

RENEW の歴史



2019



移住や雇用を支援するプロジェクト「産地の合説」が始まる。
台風が直撃し2日間開催となったものの、多くの来場者が訪れた。

開催日：2019年10月12日（土）、13日（日）、14日（月）
来場者数：延28,000人

2020

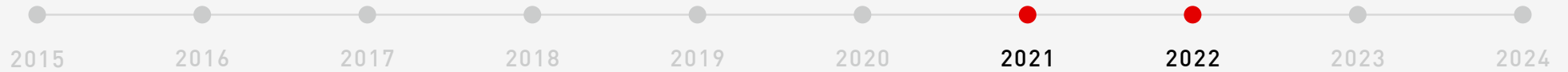


打倒コロナ。オンライン開催と現地開催を同時に実施。
RENEW サポートグループあかまる隊が誕生。

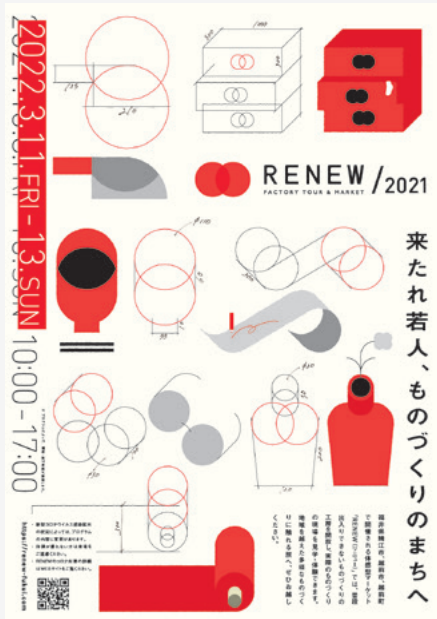
「くたばってたまるか。
共につろう、変わりつづけるものづくりのまちを」

開催日：2020年10月9日（金）、10日（土）11日（日）
来場者数：延38,000人

RENEW の歴史



2021



コロナで3月に延期。
もともとの日程では、参加企業のみで小規模なRENEWをやる。

開催日：2022年3月11日（金）、12日（土）、13日（日）
来場者数：延26,000人

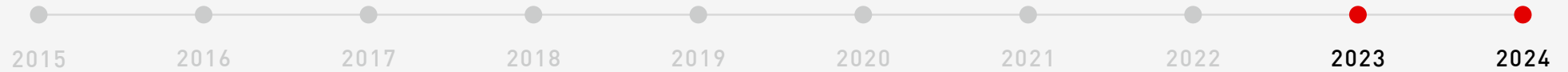
2022



中川政七商店「大日本市」とコラボレーション。
RENEWで使える賞金券「RENEW PAY」導入。

開催日：2022年10月7日（金）、8日（土）、9日（日）
来場者数：延37,000人

RENEW の歴史



2023



あかまる隊から「職人トレカ」企画が発足。
若手が自主的な企画を実施する動きが出てくる。

開催日：2023年10月6日（金）、7日（土）、8日（日）
来場者数：延31,000人

2024



RENEW10年目。
出展者数、来場者数、総売上3つの過去最高を記録。
株式会社竹尾「TAKEO PAPER SHOW ECHIZEN SABAE」と同時開催。

開催日：2024年11月1日（金）、2日（土）、3日（日）
来場者数：延48,000人

持続可能な地域をつくるために、RENEWは次のステージへ。

RENEW事務局は、「一般社団法人SOE」へ。



福井の産業観光イベント「RENEW」を開催してきた
RENEW実行委員会は、
通年型産業観光を通して持続可能な産地をつくるために、
2022年7月7日（木）に
一般社団法人SOE（ソエ）を設立しました。

VISION

産業観光を通じて、持続可能な地域をつくる。

越前鯖江エリアを日本一の産業観光地域にし、
産業観光を通じて持続可能な地域をつくることを目的にさらに活動を広げていきます。

SOEという名称に込めた3つの意味



一般社団法人
SOE

1. 産地、ものづくりに寄り添う。

主役であるものづくり、職人、担い手を一番に考え、未来と一緒に描きます。

2. 越前鯖江に産業観光という文化を添える

これまでになかった産業観光という産地の柱をつくり、このまちに新たな文化をつくれます。

3. sustainability of ECHIZEN

100年後も1000年後もこのまちが続いていくように。
持続可能な地域、越前鯖江を目指します。

SOEの事業について

一般社団法人 SOE では、大きく5つの事業を実施します。将来的には5つの事業に加え、移住促進や二次交通も含めた事業を展開予定です。

1 通年型ファクトリーツーリズムの運営



通年で体験できる観光コンテンツの開発を行います。地域の事業者と連携しながら、ものづくりの体験メニューやツアーを企画・運営し、いつ来ても楽しめる産業観光のまちをつくります。これまでイベントRENEWで積み重ねた知見を活かし、事業者も地域も持続可能な観光コンテンツを目指します。

2 メディアの運営



上記、SOEの事業すべてに通ずるのが産地PRです。ものづくりのまちである、越前 鯖江の魅力を沢山のの人に届けるために、産地の伝え手として広報・発信を行います。

3 宿泊施設の運営



工芸をまるごと体験できる宿泊施設を越前鯖江にオープンします。福井のものづくりに詳しい事業者が宿主となるため、クラフトツーリズムの魅力を観光客に伝える伝道師としての役割を担います。

4 スクールの運営・移住プログラムの運営



SOEでは、新たにスクール事業を展開します。ものづくりの職人を目指す方、地域で活躍するデザイナーを志す方、ものづくりに携わる働き方を志望する方など、これまでRENEWが培ってきたノウハウを活かし、ローカルで活躍できるスクールを開校します。

5 自主イベント(RENEW)の運営



これまで7年間続けてきたRENEWの運営を行います。福井を代表するオープンファクトリーイベントとして、普段入れないものづくりの工房・企業を一斉に開放し、ものづくりに親しんでもらう場を提供します。

6 鯖江市ふるさと納税の運営



2023年より、鯖江市の「ふるさと納税事業」の運営事務を受託しています。ふるさと納税を通じた地域貢献を目的とし、全国各地の方に鯖江市を知っていただき、地域の事業者の方々の新しい販路が増え、売上増加や雇用の拡大につながるよう取り組んでいます。



一般社団法人
SOE

連携

Vision 産業観光を通じて持続可能な地域を作る
Concept 丹南エリアを日本一の産業観光のまちにする

実施事業

総合サイト

Craft
Invitation
Tourist Information Center Introducing Local Culture

- ・産地PR
- ・コンテンツ管理
 - 宿泊予約
 - 体験予約
 - ツアー予約
 - スクール管理

産地PR



2021年4月発表

+SNS

都市人材

観光客 デザイナー バイヤー 移住希望者 じゃない人

RENEWの既存客 NEW インバウンド NEW 高所得者

ターゲット

行政

・福井県 ・越前市
・鯖江市 ・越前町

工房 / ものづくり事業者



観光事業者

・福井県観光連盟 ・バス会社
・鉄道会社 ・タクシー会社

銀行

・福井銀行
・福井信用金庫

通年型産業観光



- ・体験メニューの充実
- ・ツアー商品の開発

クラフトツーリズムを通じた 産地の売上UPと 担い手の創出	「職人と消費者」、 「異なる産業間」の 触れ合いによる共創触発	訪問外国人需要の 取り込み	効果的な告知 販促手法の明確化
工場併設ショップの充実 職人の熱量向上 来訪者の理解と愛着醸成 産地の売上向上	新事業への参戦 / 挑戦 新商品 / 新用途の開発 新たな産地ファンの獲得	外国人ファンの獲得 新たなビジネスシーン 移住や雇用のきっかけ作り	メタバース産地による、 オンライン上での認知向上 デジタルアーカイブによる 継続的な興味喚起

CONTENTS

分散型宿泊施設



河和田宿 etc.
今立宿
武生宿
神明宿

スクール



- ① ローカルデザイナーの育成
- ② 後継者育成
- ③ 伝え手育成

産業観光イベント



RENEW
FACTORY TOUR & MARKET

二次交通整備



委託事業

官公庁
民間企業

開発



空き家・自治体所有文化資源など



管理棟
レセプション
レストラン

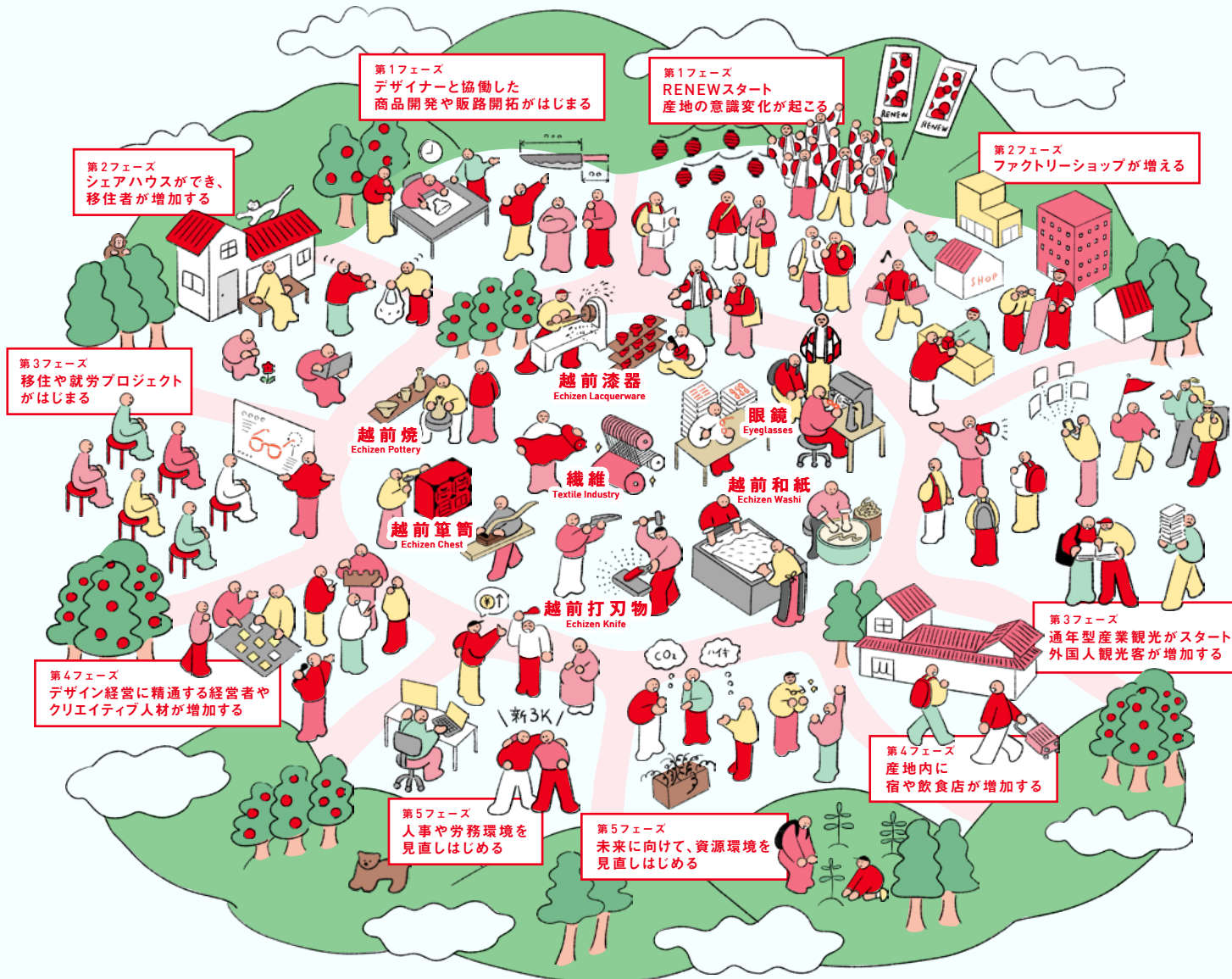
発信

創出



移住者・関係人口

越前鯖江 産地の未来図



自然災害、ウイルス、戦争、
明日何が起こるかわからない
不確実性の高い社会の中で、
ものづくりを続けるためには何をするのか。
社会や消費者に対して、
産地がどう向き合うか。

私たちは、ものづくりの魅力を
深く広く伝えるための産業観光と、
素材や労務環境、廃棄物を含め、
持続可能なまちにするための
産業環境に取り組みたい。

これからの地域は環境とも向き合い、
本当の意味で、産地や地域全体の
持続可能性を模索し続けます。

**SOEの6つの事業を柱に、
越前鯖江を日本一のものづくりの聖地へ
成長させていきます**